

# 「エコファーマーマーク」誕生

持続的で環境に優しい農業を目指す「エコファーマー」の認知度の向上を図り、  
一層の普及・拡大を図るためのロゴマークが誕生しました！！

「エコファーマー」とは、「持続性の高い農業生産方式の導入に関する法律」に基づき、  
持続性の高い農業生産方式（土づくり、化学肥料・化学農薬の低減を一体的に行う  
生産方式）を導入する計画を立て、都道府県知事の認定を受けた農業者です。



制作者：彦根 正さん

商標登録出願中

「eco」の文字と「地球」・「」をモチーフに、持続性の高い農業生産方式に取り組む  
農業者の積極的な姿勢と広がりアピールしています。「笑顔」は地球環境への  
やさしさや農産物の「安心感」、「親しみやすさ」を表しています。

マークは導入計画に基づき生産された農産物に添付するシール・包装容器・包装箱、ポスター、チラシ、ワッペン、名刺等に表示できます。マークの使用料は、無料です。

マークのデザイン、縦・横の比率を変えることはできません。色については容器包装等のデザイン上やむを得ない場合に限り、変更することができます。

マークの使用に際しては、次の使用例を参考にしてください。また、使用基準を遵守してください。

マークは、エコファーマーに限り使用できます。使用に当たっては、JA 都道府県中央会、又は都道府県の担当部局にご相談ください。

（使用例）



名刺等に使用する場合で、文字の識別が困難な場合等は説明を省略してもよい。

## エコファーマーマーク使用基準

### （目的）

第1条 持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律（以下「持続農業法」という）に基づき、たい肥等を使った土づくりと化学肥料・化学農薬の使用の低減を一体的に行う農業者（愛称；エコファーマー）の認知度を向上し、一層の普及・拡大を図ることを目的として定められた「エコファーマーマーク」（以下「マーク」という）について、その適正な使用を確保するため、この使用基準を定める。

### （図柄等）

第2条 マーク（文字を除く）のデザイン、縦・横の比率及び色は、別紙のとおりとする。

2 マークを使用者がみだりに改変して使用することはできない。但し、容器包装等のデザイン上やむを得ない場合は、前項の規定にかかわらずマークの色を変更することができる。

### （マークの商標権）

第3条 マークに関する商標権は、全国環境保全型農業推進会議の事務局である全国農業協同組合中央会（以下「JA 全中」という）が所有する。

2 このマークは、持続農業法に基づき都道府県知事による導入計画の認定を受けた農業者（以下「エコファーマー」という。）に限り使用できるものとする。

3 このマークと誤認される類似のマークは、使用してはならない。

### （マークの使用）

第4条 マークは、導入計画に基づき生産された農産物に添付するシール、包装容器・包装箱、ポスター、チラシ、ワッペン、名刺等に表示することができる。

2 マークを使用しようとする者（以下「使用者」という）は、原則として、マークの近傍に導入計画の認定を受けた都道府県名及び使用者の氏名（団体の構成員のすべてがエコファーマーである場合は当該団体名でも可）又は認定番号を明記するなどの方法により、使用者が特定できるようにしなければならない。

3 マークは「環境にやさしい農業をはじめました」又は「エコファーマー eco farmer」の文字とともに使用することとする。「エコファーマー eco farmer」を用いる場合は、マークの近傍にエコファーマーに係る説明を付すよう努めるものとする（名刺等を使用する場合であって、文字の識別又は印刷が困難な場合はこの限りでない。）。

4 使用者は、消費者等に誤解を与えるような方法でマークを表示してはならない。

### （マークの使用期間）

第5条 マークの使用期間は、使用者に係る導入計画の目標年限の範囲内とする。

(マークの使用料)

第6条 マークの使用料は、無料とする。

(マークの適正使用)

第7条 JA 全中は、使用者が本使用基準を遵守せずに、不正にマークを使用していると認める場合、適正な使用を確保するよう都道府県の協力を求める。

2 JA 全中は、マークの適正な使用に関し、この他、必要な事項については別途定めることができる。

付則

このマークは、平成15年6月1日から使用できるものとする。

(別紙)

